

歯研盤研磨粕の脱油装置における新フィルタートライ 型式: SOX-L1

(2016. 1. 19: 大手自動車製造会社にて)
(1年以上の使用実績有り... 現在も継続中)

油脂コスト低減による大幅な原価低減につながっている事例... ▲1000万円/年



遠心式脱油装置の全体



現状ペール缶式脱油装置
(現状フィルターはコシはあるが破れ
易く濾過制度も悪い)



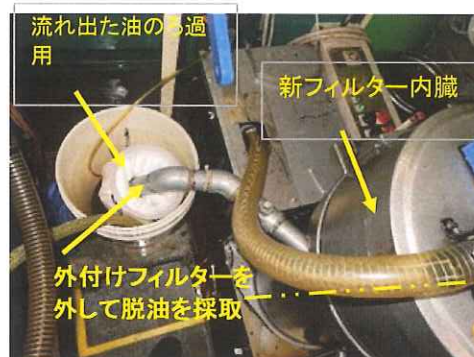
新フィルターをペール缶に設置



新フィルターへ研磨粕投入
(フィルター上部の綴じ方工夫又
少しフィルター内径を小さく出来る)

田中技研工業製: ペール缶式遠心分離機 原理

ペール缶は上下にテーパ構造となっており
遠心力で油は外側から上へと伝わり、
最終的に本フィルターにて濾過された油が放出される



遠心ブリン脱油装置の油出口
(脱油のサンプリングは配管より
直接に採取)



脱油後の新フィルターから取り出し
(フィルターからは研磨粕を容易に
へばり付きもなく取り出せる)



脱油後の研磨粕(従来同等)
パサパサとした乾いた研磨粕



出口フィルター前より油採取: 粒度分布分析
(目視ではかなりクリーン化している
再生装置に負荷軽減・故障低減になる)
分析結果: 平均粒子径10μ以下のろ過精度